

昨年スタート「ジュニア防災検定」ってなに？

# 子どもたちが大きな自然災害に立ち向かう「準備」を

ジュニア世代の防災に対する総合的な力を養う「ジュニア防災検定」(主催・一般財団法人防災検定協会)後援・内閣府・消防庁)が2013年から始まった。単純に知識を詰め込むものではないユニークな出題形式が特長で、創設2年目となる今年もその取り組みは着実に広がっている。大きな自然災害に立ち向かうための「準備」とはどのようなものか見てみよう。



昨年12月に行われた第1回ジュニア防災検定の様子

お問い合わせ・申し込み先  
 一般財団法人防災検定協会  
 電話：03(3556)5055  
 公式サイト：<http://www.jbk.jp/net/>

### 3つのステップ

自分、家族や友人などの大切な人々、社会の安全を守るため、未来を担うジュニア世代にもできることがある。ジュニア防災検定はそういった思いを持つ小中学生を対象に、自分で考え、判断し、行動できる「防災力」を身につけることを目標に始まった。検定は①事前課題の検定テスト②事後課題の3ステップ。総合的な防災力を養うことが最大の特長となっている。

①事前課題 検定テストの約2週間前に届く課題シートを完成させる。内容は例えば

**自分で考え、判断し、行動できる「防災力」を身につけることが目標**



防災寺子屋で語りをする平野啓子理事長



第1回検定の成績優秀者の子どもたち

「我が家の防災対策」といったテーマが与えられ、両親やきょうだい、友人などと話し合っただけで済ませるのではなく、自分一人でもグループや学校のクラス全体で取り組む。シートは検定テストの当日に会場へ提出。あらかじめ自分や自分が住む地域の防災マップ・作文・ポスターなどを作成する。

昨年12月には第1回検定が行われ、多くの合格者たちが認定バッジを手にした。受験申し込みは個人でも団体でもOKで、第2回検定は7月6日に開催される。みんなの防災力が結果すれば自然災害の脅威にも強く立ち向かえるはずだ。

出前授業も実施  
 ○防災検定協会では検定と並行し、防災寺子屋(出前授業)も実施している。防災ワークショップ、実際に地域を歩いている防災マップづく